

The background is a vibrant green field. In the upper left, there is a white silhouette of a person's head. In the lower right, there is a blue and white globe of the Earth. The text is centered over these elements.

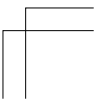
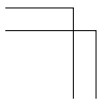
# とちぎ国際戦略

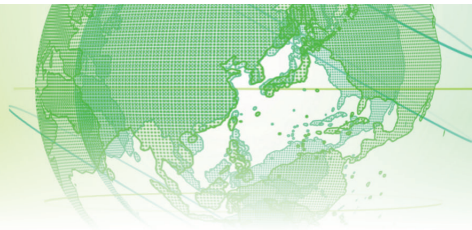
## ～世界から選ばれるとちぎ～

Tochigi Global Strategy

2021-2025

栃木県





## 「世界から選ばれるとちぎ」を目指して

現在、世界は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、デジタル技術の急速な発展などにより、人や物の動き、経済に加え、人々の意識や行動、価値観等が大きく変化しています。

また、我が国では、少子高齢化や人口減少に伴う生産年齢人口の減少、国内市場の縮小など、様々な課題に直面しています。

このような中、本県が持続的に発展していくには、こうした変化や課題に対して、関係者がビジョンを共有し、適時適切に対応しながら、世界に向けて挑戦していく必要があることから、今後5年間の本県が目指す国際化を推進するための考え方や取組の方向性等を示す「とちぎ国際戦略」を策定しました。

本戦略では、「世界から選ばれるとちぎ」を目標（目指す姿）とし、その実現に向け、「強みを生かす」、「連携する」、「挑戦する」の3つの基本姿勢で、「グローバル展開の促進」、「外国人観光客の誘客推進」、「国際交流・協力の促進」、「多文化共生の推進」に取り組むこととしています。

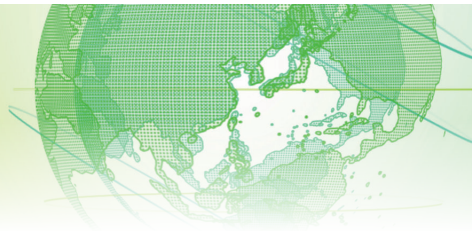
また、本県の強みを生かした施策を総合的に展開できる「重点エリア」を定めるほか、国・地域を「稼ぐ」、「拓く」、「探る」の3つのステージに分類することで、より具体的な取組の方向性を示しております。

本戦略の策定に際しまして、熱心に御審議いただきました栃木県国際戦略推進専門委員会の委員の皆様、貴重な御意見をくださいました県民の皆様、並びに、各種調査に御協力いただきました有識者、専門家、企業の皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。

今後は、本戦略に基づいて「世界から選ばれるとちぎ」の実現を目指して取り組んで参りますので、県民の皆様をはじめ関係各位の御理解と御協力を心からお願いいたします。

令和3（2021）年3月

栃木県知事 福田 富一



## 目次

はじめに	1
第1章 栃木県を取り巻く環境	2
第2章 栃木県の目指す国際化	8
1 目標（目指す姿）	8
2 基本姿勢	8
3 基本戦略	9
4 重点エリア	11
第3章 取組の方向性	12
第1節 未来につながる経済成長のために	12
1 グローバル展開の促進	12
2 外国人観光客の誘客推進	18
3 国際交流・協力の促進（経済交流）	20
第2節 豊かで持続可能な地域のために	22
1 多文化共生の推進	22
2 国際交流・協力の促進（友好交流）	24
第4章 SDGsの位置付け	26
資料編	27
1 国・地域のデータ等	28
2 とちぎ国際戦略～世界から選ばれるとちぎ～の策定経過	36
3 栃木県国際戦略推進専門委員会委員名簿	37
4 栃木県国際戦略推進専門委員会設置要綱	38



## はじめに

### 1 策定の背景と経過

県では、平成28（2016）年3月に「とちぎ国際化推進プラン2016～2020」を策定し、令和2（2020）年度までの5年間に取り組むべき基本施策を示し、本県の国際化に向けた取組を実施してきました。

この間、平成30（2018）年12月のTPP11<sup>※1</sup>（CPTPP：環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）や平成31（2019）年2月の日本・EU経済連携協定の発効、同年4月の新たな在留資格「特定技能」<sup>※2</sup>の創設による外国人材の受入れ拡大等、本県を取り巻く環境が大きく変化したことから、同月に「国際戦略推進本部」を設置し、県が実施する国際関連施策を総合的かつ効果的に展開しています。

一方、令和2（2020）年には新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大し、多くの国・地域で感染の抑制を目的とした渡航制限や外出規制等が実施されました。これらは、人や物の動き、経済にとどまらず、人々の行動・意識・価値観にまで影響を及ぼしています。

このように、本県を取り巻く環境が大きく変化する中、今後も県勢を持続的に発展させるには、現状と課題や環境の変化を踏まえた上で、本県の魅力・実力を世界に発信するなどし、様々な地域間競争に打ち勝てるよう、不断の挑戦をし続ける必要があります。

このため、県では、本県関係者がビジョンを共有し、積極的に挑戦するために、「とちぎ国際戦略」を策定することとしました。

### 2 戦略の位置付け

栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」に掲げる、めざすとちぎの将来像の実現に向け、本県が目指す国際化を推進するための考え方や取組の方向性等を示すものです。

また、県民、民間団体、市町等が、相互に連携を図りながら活動をしていく上での指針とします。

### 3 戦略の推進期間

令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5か年間で推進期間とします。

なお、推進期間内であっても、本県を取り巻く環境の変化に鑑み、年度毎の施策に反映するなど、柔軟に対応していきます。

※1 参加国は、日本、シンガポール、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、メキシコ、ペルー、チリ

※2 特定産業分野（平成31（2019）年4月1日現在：14業種）に属する相当程度の知識又は経験を必要とする技能（特定技能1号）もしくは熟練した技能（特定技能2号）を要する業務に従事する外国人向けの在留資格。一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人を受け入れる制度